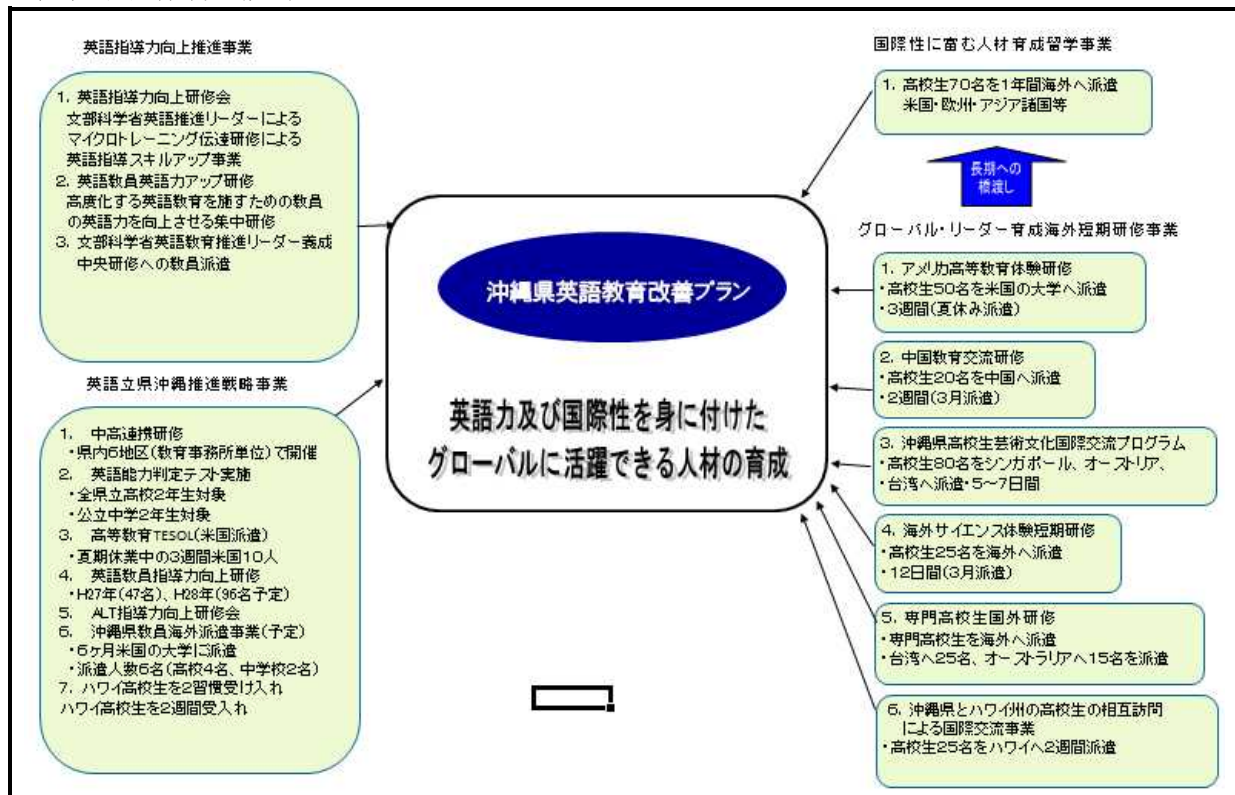


沖縄県英語教育改善プラン

実施内容

(1) 研修体制の概要



(2) 英語教育の状況を踏まえた目標管理

中学校においては、「英語教育状況調査」を踏まえ H29 年度の目標値に近づけるよう、計画する。

① 求められる英語力を有する英語担当教員の割合

目標値 50.0% 達成値 34.2%

H28 年度から実施する「英語教員英語力アップ研修会」にて、準一級などの資格をもたない教員を対象に、集中講座を実施し、一年以内の資格取得をめざす。

② 求められる英語力を有する生徒の割合

目標値 30.0% 達成値 29.2% (H29 目標値 50.0%)

H28 年度から実施する「英語指導力向上研修会」で、最新の指導方法などについて知り、実践することにより、言語活動の場面で、生徒の英語使用量を増やし、英語で話すこと、書くことの表現活動と知識理解をバランス良く組み合わせることで授業の工夫改善を行い、生徒のスキルアップを図りたい。

③ 学習到達度の整備状況

「CAN-DO リスト」形式での設定状況

目標値 98.0% 達成値 96.0% (昨年度 98.0%)

昨年の 98.0% から 2.0% 減となった。すべての学校の設定を促すととともに、公表と見直しをする。

④ 生徒の授業における英語による言語活動時間の割合

目標値 50.0% 達成値 60.0% (H28,29 目標値 70.0%)

言語活動の中で、生徒の意欲を喚起する興味深い材料を仕込み、英語使用量を増やす。教師はできるだけ生徒に話させ、説明などは短く簡潔にする。

⑤ パフォーマンステストの実施状況

スピーキング 目標回数 3回 達成回数 3回

ライティング 目標回数 2回 達成回数 2回

H27 までは、総括評価のためのパフォーマンステストのみを算出していると思われる。次年度からは、CAN-DO リストに則り、設定する。

⑥ 英語担当教員の授業における英語使用状況

目標値 60.0% 達成値 63.4% (H29 目標値 70.0%)

英語で教えるということに、抵抗がなくなってきている。引き続き目標値 70.0%をめざす。

⑦ 英語担当教員に対する研修実施回数

目標回数 20 回 達成回数 24 回

現在は、

・教科ブロック研修 ・指導力向上研修 ・小中連携研修 ・中高連携研修 ・各教科研修等が 6 地区で実施されている。

高等学校においては、目標値を設けているほとんどの項目を下回っている。特に、「求められる英語力を有する生徒の割合」、「学習到達目標の整備状況 公表、達成状況の把握」、「生徒の授業における英語による言語活動時間の割合」、「英語担当教員の授業における英語使用状況」において、目標としている数値を大きく下回っている。更なる授業改善と評価方法の工夫が必要であり、次の方策を考えている。

① 求められる英語力を有する英語担当教員の割合

目標値 68.0%に対して 71.8%と上回っており、国が定める 75.0%達成に向けて順調に推移している。

② 求められる英語力を有する生徒の割合

目標値 30.0%に対して 23.9%と下回っている。前年度と比較しても横ばい状態である。内訳が「英検準 2 級以上を取得している割合 13.3%、英検準 2 級以上相当の英語力を有すると思われる割合 10.6%」となっており、どちらにも課題があるが、「有すると思われる割合」の方が特に改善を要する。各研修会において、CEFR の基準が計れるパフォーマンス評価を取り入れるよう求め、次年度目標の 40%を目指す。

③ 学習到達目標の整備状況

「CAN-DO リスト」の形式での設定状況は、H27 年度全高校からの提出があり 100%であった。しかし、公表に関しては 5.7%とかなり低いのが現状である。公表の意義の理解を進め、平成 28 年度には 50%を目指す。

④ 生徒の授業における英語による言語活動時間の割合

現状は 31.9%であるが、中高連携研修会の公開授業等でモデルを示すことにより、平成 28 年度には 70%を目指す。

⑤ パフォーマンステストの実施状況

昨年度に比べると、スピーキングもライティングのテストも増加している。しかし、まだまだ目標値に届いていない科目があるので、パフォーマンス評価に特化した研修会を開催し、意義、実施方法について意識を高める。

⑥ 英語担当教員の授業における英語使用状況

現状は 38.0%であるが、夏季休業中に 3 日間の英語教員指導力向上研修を通して、平成 28 年度には 55%を目指す。

⑦ 英語担当教員に対する研修実施回数

現状は、中高英語担当教員対象の合同研修会は「高校入試分析説明会（7 地区）」「中高連携研修会（6 地区）」「英語能力判定テストフィードバック説明会（3 地区）」「教育講演会」「小中高大連携シンポジウム」の 5 つ、高校英語担当教員対象の研修会は「教育課程説明会（3 地区）」「学習評価に関する研修会」「英語教員指導力向上研修会」の 3 つとなっている。ほとんどの研修が悉皆研修となっており、研修会では県の「英語教育改善プラン」を理解してもらい、各学校で生徒の英語力向上に繋がるような内容を目指す。

(3) 研修の体系と内容の具体

小中学校においては、「英語指導力向上推進事業」の中で次の 3 つの研修を実施する。

① 英語指導力向上研修会（小学校・中学校）

文部科学省英語教育推進リーダーによるマイクロトレーニング伝達研修により、英語担当教諭・英語教師のスキル・アップを図る。

② 英語教員英語力アップ研修

高度化する英語教育を施すのに必要な教員の英語力の向上をめざした集中講座である。この研修において、準一級などの資格をもたない教員を対象に、集中講座を実施し、一年以内の資格取得をめざす。

③ 文部科学省英語教育推進リーダー養成中央研修への派遣

高等学校においては、本島・離島を含む全県立60校を対象とした研修会を、年3回実施を計画している。また、中高連携を深めるために、教育事務所単位（6地区）で研修会を次年度も計画している。さらに、パフォーマンス評価が重要視されている昨今の現状を踏まえ、県外大学より講師を招へいし、全県立60校対象の悉皆研修も予定している。

① 高校入試分析会を7地区に分け、全ての公立中学校、県立高校より英語担当教員1名が参加する研修会を実施し、3技能（読む、聴く、書く）の向上に繋がる高校入試のありかたについて協議し、各学校での授業改善に取り組む。

② 県立高校英語科教員対象の教育課程研修会を3地区に分け実施する。国の動向や、本県の生徒、教員の英語力の状況、留学事業等の行政説明後、グループ討議ではテーマを設定し各グループで話し合い、それぞれのグループでの協議内容を全体で発表しシェアし、授業力向上に努めている。

平成25年度より、カリフォルニア大学サンディエゴ校より當作靖彦氏を招聘し、学習評価に特化した講演会、レクチャー、ワークショップを開催している。参加者からも好評を得ており、平成28年度も、中学校、高等学校の外国語担当教員を対象とした研修会を計画中である。

(4) 年間事業計画

月	都道府県等の取組	外部専門機関等
4月	<ul style="list-style-type: none"> 文部科学省英語教育推進リーダー養成中央研修会（中学校）① 中学校授業改善アドバイザー研修会（5教科） 	
5月	<ul style="list-style-type: none"> 英語能力判定テスト（高校9,800名、中学校4,600名対象）実施 文部科学省英語教育推進リーダー養成中央研修会（小学校）① 中学校教科ブロック研修会（5教科） 	英語検定協会
6月	<ul style="list-style-type: none"> 高校入試分析研修会（全7地区）（中学校・高校） 学習評価に関する研修会（悉皆研修）（中学校・高校） ALTコーディネイター研修会 	カリフォルニア大学
7月	<ul style="list-style-type: none"> 英語授業マイスター発掘プロジェクト（中学校・高校） 	
8月	<ul style="list-style-type: none"> 英語教員指導力向上研修（中学校・高校） 教育課程研修会（全3地区）（高校） 英語能力判定テストフィードバック説明会（全3地区）（中学校・高校） 中学校授業改善アドバイザー研修会（5教科） 	琉球大学
9月	<ul style="list-style-type: none"> 英語担当中高連携研修会（6地区）（中学校・高校） 	
10月	<ul style="list-style-type: none"> 文部科学省英語教育推進リーダー養成中央研修会（中学校）② 中学校教科ブロック研修会（5教科） 	

11月	<ul style="list-style-type: none"> ・ALT等の指導力向上研修会 ・文部科学省英語教育推進リーダー養成中央研修会（小学校）② 	
12月		
1月	<ul style="list-style-type: none"> ・教育講演会 ・小中高大連携シンポジウム 	県外大学
2月		
3月		
【その他の取組】		

(様式2) 目標管理書

都道府県等 教育委員会名	沖縄県教育委員会
-----------------	----------

※「外部専門機関と連携した英語指導力向上事業」を既に受託している場合は、事業申請書の他に別途で作成いただく必要はありません。本事業を受託していない都道府県におかれましては、H28年度以降の数値を、現状値(適宜欄を追加ください)も含めてご記入ください。H27年度以前の数値は、可能な範囲でご記入ください。

※指標の考え方については、別添3-4を御覧ください。

校種	No.	指標内容	H25	H26		H27		H28		H29		
			現状	目標値	達成値	目標値	達成値	目標値	達成値	目標値	達成値	
高等学校	①	求められる英語力を有する教師の割合(%)	67.2%	68.0%	65.3%	68.0%	71.8%	75.0%		78.0%		
	②	求められる英語力を有する生徒の割合(%)	16.7%	25.0%	24.8%	30.0%	23.9%	40.0%		50.0%		
	③	学習到達目標の整備状況 設定(%)	3.7%	50.0%	9.8%	70.0%	100.0%	90.0%		100.0%		
		公表(%)	1.5%	25.0%	2.3%	30.0%	5.7%	50.0%		75.0%		
		達成状況の把握(%)	0.0%	25.0%	5.3%	30.0%	17.0%	50.0%		75.0%		
	④	生徒の授業における英語による言語活動時間の割合(%)	42.4%	50.0%	41.6%	60.0%	39.1%	70.0%		80.0%		
	⑤	パフォーマンステストの実施状況	コミュニケーション英語Ⅰ			0.9回	3.0回	1.4回	3.0回		3.0回	
			スピーキングテスト(回)			0.7回	3.0回	1.0回	3.0回		3.0回	
			コミュニケーション英語Ⅱ				1.5回	0.5回	1.5回		1.5回	
			英語表現Ⅰ			0.9回	1.0回	1.1回	1.5回		1.5回	
			英語表現Ⅱ			0.1回	1.0回	0.5回	1.5回		1.5回	
	ライティングテスト(回)	コミュニケーション英語Ⅰ			0.4回	3.0回	0.4回	3.0回		3.0回		
		コミュニケーション英語Ⅱ			0.1回	3.0回	0.3回	3.0回		3.0回		
			コミュニケーション英語Ⅲ				1.5回	0.5回	1.5回		1.5回	
			英語表現Ⅰ			0.2回	1.0回	1.1回	1.5回		1.5回	
			英語表現Ⅱ			0.1回	1.0回	0.5回	1.5回		1.5回	
	⑥	英語担当教員の授業における英語使用状況(%)	56.9%		49.4%	50.0%	43.4%	55.0%		60.0%		
⑦	英語担当教員に対する研修実施回数		15回	13回	15回	14回	15回		15回			
	研修受講者数		235人	199人	235人	219人	235人		235人			
	(参考)英語担当教員数		402人		401人		394人					

校種	No.	指標内容	H25	H26		H27		H28		H29	
			現状	目標値	達成値	目標値	達成値	目標値	達成値	目標値	達成値
中学校	①	求められる英語力を有する教師の割合(%)	33.9%	50.0%	31.9%	50.0%	34.2%	50.0%		70.0%	
	②	求められる英語力を有する生徒の割合(%)	26.4%	30.0%	28.1%	30.0%	29.2%	40.0%		50.0%	
	③	学習到達目標の整備状況 設定(%)	90.2%	90.0%	98.0%	98.0%	96.0%	98.0%		100.0%	
		公表(%)			3.4%		13.5%	50.0%		70.0%	
		達成状況の把握(%)			18.2%		31.8%	70.0%		98.0%	
	④	生徒の授業における英語による言語活動時間の割合(%)			48.6%	50.0%	60.0%	70.0%		70.0%	
⑤	パフォーマンステストの実施状況	スピーキングテスト(回)			2回	3回	3回	5回		10回	
		ライティングテスト(回)			1回	2回	2回	5回		10回	
⑥	英語担当教員の授業における英語使用状況(%)	54.1%		55.9%	60.0%	63.4%	68.0%		70.0%		
⑦	英語担当教員に対する研修実施回数				20回	24回	20回		20回		
	研修受講者数					596	468				
	(参考)英語担当教員数			457	457	468	468				

独自	No.	指標内容	H25	H26		H27		H28		H29	
			現状	目標値	達成値	目標値	達成値	目標値	達成値	目標値	達成値
		海外留学・交流派遣数(高校)	297人	291人	589人	340人	358人	340人		340人	